

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年1月13日
【四半期会計期間】	第44期第3四半期（自平成23年9月1日至平成23年11月30日）
【会社名】	株式会社柿安本店
【英訳名】	Kakiyasu Honten Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 赤塚 保正
【本店の所在の場所】	三重県桑名市吉之丸8番地
【電話番号】	(0594)23-5500(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 赤塚 義弘
【最寄りの連絡場所】	三重県桑名市吉之丸8番地
【電話番号】	(0594)23-5500(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 赤塚 義弘
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第3四半期連結 累計期間	第44期 第3四半期連結 累計期間	第43期 第3四半期連結 会計期間	第44期 第3四半期連結 会計期間	第43期
会計期間	自平成22年 3月1日 至平成22年 11月30日	自平成23年 3月1日 至平成23年 11月30日	自平成22年 9月1日 至平成22年 11月30日	自平成23年 9月1日 至平成23年 11月30日	自平成22年 3月1日 至平成23年 2月28日
売上高(千円)	29,100,772	30,179,099	9,771,815	10,027,245	40,521,935
経常利益(千円)	1,001,911	1,536,950	375,522	489,762	1,822,291
四半期(当期)純利益(千円)	459,610	597,338	180,694	258,461	743,374
純資産額(千円)	-	-	11,310,695	11,835,539	11,602,562
総資産額(千円)	-	-	16,914,762	17,760,357	16,844,479
1株当たり純資産額(円)	-	-	908.75	950.92	932.20
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	36.92	47.99	14.51	20.76	59.72
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	66.9	66.6	68.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	411,236	589,528	-	-	2,074,901
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	830,173	531,747	-	-	683,007
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	540,583	754,648	-	-	570,966
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	3,171,474	4,255,054	4,951,921
従業員数(人)	-	-	1,139	1,119	1,134

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成23年11月30日現在

従業員数（人）	1,119 (2,216)
---------	---------------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は（ ）内に当第3四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成23年11月30日現在

従業員数（人）	1,092 (1,810)
---------	---------------

（注）従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除く）であり、臨時従業員数は（ ）内に当第3四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	前年同四半期比(%)
精肉事業(千円)	2,239,961	-
惣菜事業(千円)	1,171,523	-
食品事業(千円)	372,588	-
和菓子事業(千円)	223,019	-
合計(千円)	4,007,092	-

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 金額は、製造原価によっております。

3. 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社グループは見込み生産を行っており、受注状況について記載すべき事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	前年同四半期比(%)
精肉店舗(千円)	3,366,287	
その他精肉部門(千円)	36,965	
精肉事業(千円)	3,403,252	-
ダイニング店舗(千円)	2,483,645	
その他惣菜店舗(千円)	552,142	
その他惣菜部門(千円)	6,481	
惣菜事業(千円)	3,042,270	-
しぐれ部門(千円)	898,304	
その他食品部門(千円)	22,670	
食品事業(千円)	920,974	-
和菓子店舗(千円)	944,414	
その他店舗(千円)	11,685	
和菓子事業(千円)	956,100	-
柿安店舗(千円)	186,363	
ビュッフェ店舗(千円)	1,175,510	
グリルレストラン店舗(千円)	342,773	
レストラン事業(千円)	1,704,647	-
合計(千円)	10,027,245	-

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災やその後の電力供給不足等による停滞から、一部に持ち直しの傾向が見られたものの、欧州の金融不安や円高により、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

食関連業界におきましては、雇用環境の悪化懸念により、消費者の節約志向は依然として強く、また、原子力発電所事故による放射性セシウム汚染肉牛の流通等、食の安全性に対する不安も加わり、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、取扱い商品の安全と信頼向上へ、放射性物質検査機器の追加調達により、牛肉の自主検査体制の強化を図るとともに、創業140周年の節目を迎えるにあたり、創業の地、三重を発信する「三重県フェア」及び「140周年感謝祭」の開催などに、グループを挙げて取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は10,027,245千円（前年同期比2.6%増）、営業利益は488,296千円（前年同期比31.9%増）、経常利益は489,762千円（前年同期比30.4%増）、四半期純利益は258,461千円（前年同期比43.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（a）精肉事業

放射性セシウム汚染肉牛の発生による牛肉販売への影響は継続しており、検査機器の追加調達等、安全と信頼の回復に努めてまいりました。また、毎月10日の「トン（豚）の日」・29日の「肉の日」など、定例販促の強化を行うとともに、「三重県フェア」及び「140周年感謝祭」において、松阪牛や三重県産黒毛和牛の販売促進に積極的に取り組み、牛肉の販売回復を図ってまいりました。

この結果、当事業の売上高は3,403,252千円、セグメント利益は207,771千円となりました。

（b）惣菜事業

毎日のお買得商品と併せ、月曜日を「サラダの日」としてサラダ類の拡販をクーポン付き手配りチラシにより開始するとともに、「黒酢健康肉団子」や「絶品！ねぎまみれ鶏唐揚げ」などの惣菜類のブラッシュアップ及びボリューム展開により、売り込み強化を図りました。

この結果、当事業の売上高は3,042,270千円、セグメント利益は336,654千円となりました。

（c）食品事業

年間最大の販売機会である歳暮ギフト商戦へギフトセンターの好位置の確保や、各百貨店等のカタログ掲載の効果向上を図るとともに、「三重県フェア」及び「140周年感謝祭」へ「松阪牛しぐれ煮」や「松阪牛ハヤシ」などの特別商品や、定例の月末3日間限定セールにおけるセール限定商品の開発投入により、非ギフト需要期の自家需要、パーソナルギフト需要の取り込み拡大を図りました。

この結果、当事業の売上高は920,974千円、セグメント利益は174,718千円となりました。

(d) 和菓子事業

お月見、お彼岸やハロウィンなどの歳時ごとの商品展開強化や、「三重県フェア」への地酒を使った酒饅頭をはじめとする、新商品投入を進めました。また、いちごシリーズによる季節先取り品揃えや、店頭や予告チラシによる告知強化を図りました。

この結果、当事業の売上高は956,100千円、セグメント利益は12,859千円となりました。

(e) レストラン事業

「三重県フェア」では松阪牛メニューや三重の名物「大とんてき」、「140周年感謝祭」では「復刻版松阪牛牛鍋」の提供など、お肉の柿安を打ち出すとともに、特別シルバー料金による敬老日企画や、ハロウィンのお子様お菓子つかみ取り企画をはじめ、歳時ごとの集客企画を実施してまいりました。

この結果、当事業の売上高は1,704,647千円、セグメント利益は53,971千円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末に比べ204,705千円減少し、4,255,054千円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、28,485千円（前年同四半期は、62,889千円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益、仕入債務の増加、賞与引当金の増加及び減価償却費等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払、たな卸資産の増加及び売上債権の増加等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、97,808千円（前年同四半期は、260,452千円の減少）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、135,383千円（前年同四半期は、130,383千円の減少）となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更等はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結会計期間において、経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しに重要な変更等はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、改修のうち完了したものは次のとおりであります。

< 提出会社 >

事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	完了年月	増加能力
新静岡セノバ精肉店 (静岡県静岡市葵区)	精肉事業	「精肉」店舗	平成23年10月	-
そごう柏精肉店 (千葉県柏市)			平成23年10月	-

< 国内子会社 >

[柿安グルメフーズ株式会社]

事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	完了年月	増加能力
口福堂 フジグラン広島店 (広島県広島市中区)	和菓子事業	「口福堂」店舗	平成23年9月	-

当第3四半期連結会計期間において新たに確定し、当第3四半期連結会計期間に完了したものは、次のとおりであります。

< 提出会社 >

事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	完了年月	増加能力
高島屋大阪柿安牛めし (大阪府大阪市中央区)	惣菜事業	「柿安牛めし」店舗	平成23年11月	-
高島屋大阪ダイニング (大阪府大阪市中央区)		「柿安ダイニング」店舗	平成23年11月	-

< 国内子会社 >

[柿安グルメフーズ株式会社]

事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	完了年月	増加能力
口福堂 イオン茅ヶ崎中央店 (神奈川県茅ヶ崎市)	和菓子事業	「口福堂」店舗	平成23年10月	-
口福堂 ゆめタウン徳島店 (徳島県板野郡藍住町)			平成23年11月	-

また、当第3四半期連結会計期間において新たに確定した重要な設備の新設、改修計画は次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額(千円)		資金調達 方法	着手及び完了予定年月		完成後の 増加能力
				総額	既支払額		着手	完了	
提出会社	惣菜店舗 1店舗 (東京都墨田区)	惣菜事業	「柿安」店舗 1店舗	29,566	-	自己資金	平成24年 5月	平成24年 5月	-
	レストラン店舗 1店舗 (東京都墨田区)	レストラン 事業	「グリルカキヤス」 店舗 1店舗	34,904	-	自己資金	平成24年 5月	平成24年 5月	-
柿安 グルメフーズ 株式会社	口福堂店舗 3店舗 (香川県高松市、他)	和菓子事業	「口福堂」店舗 3店舗	35,296	-	自己資金	平成24年 1月	平成24年 4月	-

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	46,300,800
計	46,300,800

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年1月13日)	上場金融商品取引所名又は登 録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	12,446,700	12,446,700	大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)	単元株式数100株
計	12,446,700	12,446,700	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年9月1日～ 平成23年11月30日	-	12,446,700	-	1,269,238	-	1,074,763

(6)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ
ん。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,444,900	124,449	-
単元未満株式	普通株式 1,500	-	-
発行済株式総数	12,446,700	-	-
総株主の議決権	-	124,449	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が300株(議決権の数3個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式8株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社柿安本店	三重県桑名市吉之丸8番地	300	-	300	0.0
計	-	300	-	300	0.0

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
最高(円)	1,000	975	989	978	974	960	952	975	965
最低(円)	820	925	936	945	940	930	929	935	941

(注) 最高・最低株価は、大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)における株価を記載しております。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。
役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役社長（代表取締役）	取締役社長（代表取締役） 兼 レストラン事業本部長	赤塚 保正	平成23年11月 1日
常務取締役 第一事業本部長	常務取締役 精肉事業本部長	佐藤 重男	平成23年11月 1日
常務取締役 第二事業本部長 （子会社） 柿安グルメフーズ株式会社 取締役社長（代表取締役）	常務取締役 食品事業本部長 （子会社） 柿安グルメフーズ株式会社 取締役社長（代表取締役）	樋尾 清明	平成23年11月 1日

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成22年9月1日から平成22年11月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年11月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年11月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成22年9月1日から平成22年11月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,855,054	5,551,921
受取手形及び売掛金	3,359,153	2,476,026
商品及び製品	305,790	190,963
仕掛品	400,303	116,868
原材料及び貯蔵品	172,394	146,547
繰延税金資産	290,564	209,976
その他	63,838	95,702
貸倒引当金	29,207	23,703
流動資産合計	9,417,892	8,764,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,403,560	3,098,832
土地	2,282,565	2,282,565
その他(純額)	786,335	831,511
有形固定資産合計	6,472,460	6,212,908
無形固定資産		
その他	135,748	169,394
無形固定資産合計	135,748	169,394
投資その他の資産		
投資有価証券	139,875	171,644
繰延税金資産	425,306	345,378
差入保証金	934,153	893,685
その他	234,920	288,363
貸倒引当金	-	1,200
投資その他の資産合計	1,734,255	1,697,872
固定資産合計	8,342,464	8,080,175
資産合計	17,760,357	16,844,479
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,588,843	1,124,505
未払金	333,891	347,694
未払法人税等	349,985	476,330
未払費用	954,596	893,610
賞与引当金	550,019	339,047
役員賞与引当金	17,055	26,940
その他	553,448	720,711
流動負債合計	4,347,839	3,928,841

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
固定負債		
長期借入金	952,500	1,207,500
退職給付引当金	2,691	1,474
役員退職慰労引当金	93,181	94,306
資産除去債務	523,801	-
その他	4,805	9,795
固定負債合計	1,576,978	1,313,076
負債合計	5,924,818	5,241,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,269,238	1,269,238
資本剰余金	1,074,763	1,074,763
利益剰余金	9,519,964	9,271,124
自己株式	348	348
株主資本合計	11,863,618	11,614,778
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,079	12,216
評価・換算差額等合計	28,079	12,216
純資産合計	11,835,539	11,602,562
負債純資産合計	17,760,357	16,844,479

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	29,100,772	30,179,099
売上原価	16,134,839	16,527,783
売上総利益	12,965,932	13,651,316
販売費及び一般管理費	11,975,861	12,119,857
営業利益	990,071	1,531,458
営業外収益		
受取利息	2,498	2,692
受取配当金	1,423	1,489
協賛金収入	14,903	7,587
その他	19,963	17,388
営業外収益合計	38,789	29,158
営業外費用		
支払利息	21,412	16,488
その他	5,536	7,177
営業外費用合計	26,949	23,666
経常利益	1,001,911	1,536,950
特別利益		
固定資産売却益	933	186
資産除去債務履行差額	-	12,172
特別利益合計	933	12,359
特別損失		
固定資産除却損	31,307	67,454
減損損失	37,385	39,883
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	276,357
その他	16,384	18,528
特別損失合計	85,077	402,224
税金等調整前四半期純利益	917,766	1,147,085
法人税、住民税及び事業税	486,060	699,550
法人税等調整額	27,904	149,803
法人税等合計	458,155	549,746
少数株主損益調整前四半期純利益	-	597,338
四半期純利益	459,610	597,338

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
売上高	9,771,815	10,027,245
売上原価	5,415,587	5,459,964
売上総利益	4,356,227	4,567,280
販売費及び一般管理費	3,986,057	4,078,983
営業利益	370,169	488,296
営業外収益		
受取利息	785	895
協賛金収入	4,447	1,454
その他	8,454	6,474
営業外収益合計	13,688	8,825
営業外費用		
支払利息	6,638	5,000
その他	1,697	2,358
営業外費用合計	8,336	7,359
経常利益	375,522	489,762
特別損失		
固定資産除却損	17,583	9,573
その他	4,641	577
特別損失合計	22,224	10,150
税金等調整前四半期純利益	353,297	479,611
法人税、住民税及び事業税	219,940	309,290
法人税等調整額	47,336	88,139
法人税等合計	172,603	221,150
少数株主損益調整前四半期純利益	-	258,461
四半期純利益	180,694	258,461

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	917,766	1,147,085
減価償却費	513,736	498,532
減損損失	37,385	39,883
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	276,357
賞与引当金の増減額(は減少)	182,361	210,972
役員賞与引当金の増減額(は減少)	8,505	9,885
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,149	1,216
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8,991	1,125
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,940	5,504
受取利息及び受取配当金	3,922	4,182
投資有価証券評価損益(は益)	11,163	7,276
支払利息	21,412	16,488
有形固定資産除却損	25,437	67,188
有形固定資産売却損益(は益)	933	186
売上債権の増減額(は増加)	546,983	879,860
たな卸資産の増減額(は増加)	385,748	424,108
仕入債務の増減額(は減少)	512,373	464,337
未払金の増減額(は減少)	205,026	32,668
未払消費税等の増減額(は減少)	56,177	18,669
その他	13,104	42,939
小計	1,020,029	1,407,096
利息及び配当金の受取額	4,041	4,243
利息の支払額	20,886	15,972
法人税等の支払額	591,947	805,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	411,236	589,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,500,000	1,200,000
定期預金の払戻による収入	1,200,000	1,200,000
有形固定資産の取得による支出	400,854	475,470
有形固定資産の売却による収入	1,992	1,633
投資有価証券の取得による支出	2,079	2,082
長期貸付金の回収による収入	1,989	2,032
差入保証金の差入による支出	40,910	35,822
差入保証金の回収による収入	5,649	64,392
その他	95,961	86,432
投資活動によるキャッシュ・フロー	830,173	531,747

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	390,000	405,000
自己株式の取得による支出	76	-
配当金の支払額	149,357	348,498
その他	1,149	1,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	540,583	754,648
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	959,520	696,867
現金及び現金同等物の期首残高	4,130,994	4,951,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,171,474	4,255,054

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>資産除去債務に関する会計基準の適用</p> <p>第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ19,834千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は、284,019千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は535,887千円であります。</p>

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
(四半期連結損益計算書)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p>

	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
(四半期連結損益計算書)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p>

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
1. たな卸資産の評価方法	<p>当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。</p>
2. 固定資産の減価償却費の算定方法	<p>定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。</p>

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)
有形固定資産の減価償却累計額 5,121,218千円	有形固定資産の減価償却累計額 4,879,975千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
販売費及び一般管理費の主要な費用及び金額	販売費及び一般管理費の主要な費用及び金額
店舗家賃 2,497,662千円	店舗家賃 2,607,281千円
給料及び手当 5,528,240	給料及び手当 5,548,293
賞与引当金繰入額 409,034	賞与引当金繰入額 450,426
役員賞与引当金繰入額 20,205	役員賞与引当金繰入額 17,055
役員退職慰労引当金繰入額 8,991	役員退職慰労引当金繰入額 7,875

前第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
販売費及び一般管理費の主要な費用及び金額	販売費及び一般管理費の主要な費用及び金額
店舗家賃 840,859千円	店舗家賃 880,664千円
給料及び手当 1,835,592	給料及び手当 1,833,567
賞与引当金繰入額 135,849	賞与引当金繰入額 177,097
役員賞与引当金繰入額 5,085	役員賞与引当金繰入額 5,685
役員退職慰労引当金繰入額 2,991	役員退職慰労引当金繰入額 2,625

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年11月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年11月30日現在)
現金及び預金勘定 4,071,474千円	現金及び預金勘定 4,855,054千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 900,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 600,000
現金及び現金同等物 3,171,474	現金及び現金同等物 4,255,054

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 12,446,700株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 308株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月27日 定時株主総会	普通株式	348,498	28	平成23年2月28日	平成23年5月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)

	精肉事業 (千円)	惣菜事業 (千円)	食品事業 (千円)	レストラン 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,268,349	2,817,580	1,946,022	1,739,862	9,771,815	-	9,771,815
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	392,182	5,811	105,314	6,117	509,425	(509,425)	-
計	3,660,532	2,823,391	2,051,336	1,745,980	10,281,241	(509,425)	9,771,815
営業利益 (又は営業損失)	262,017	248,865	167,763	(25,410)	653,237	(283,067)	370,169

前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

	精肉事業 (千円)	惣菜事業 (千円)	食品事業 (千円)	レストラン 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,555,859	8,552,153	5,683,084	5,309,675	29,100,772	-	29,100,772
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,013,742	18,959	292,766	19,353	1,344,821	(1,344,821)	-
計	10,569,601	8,571,113	5,975,850	5,329,028	30,445,594	(1,344,821)	29,100,772
営業利益	705,202	889,833	256,457	26,541	1,878,035	(887,963)	990,071

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各部門の主な事業内容

<精肉事業> 精肉類の製造小売事業

<惣菜事業> 惣菜、弁当類等の製造小売事業

<食品事業> しぐれ煮の製造・卸及び小売事業、和菓子類の製造小売事業

<レストラン事業> レストラン店舗の運営

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)及び前第3四半期連結累計期間

(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社はありませんので、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)及び前第3四半期連結累計期間

(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。当社は、食品の製造販売を行っており、その活動は、外食、中食、家庭内食と多岐に渡り、商品、サービス、業態区分による、事業本部制により運営されております。これにより報告セグメントについては、以下の5つとしております。

各部門の主な事業内容

- < 精肉事業 > 精肉類の製造小売事業
- < 惣菜事業 > 惣菜、弁当類等の製造小売事業
- < 食品事業 > しぐれ煮の製造・卸及び小売事業
- < 和菓子事業 > 和菓子類等の製造小売事業
- < レストラン事業 > レストラン店舗の運営

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成23年3月1日至平成23年11月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	精肉事業	惣菜事業	食品事業	和菓子 事業	レストラン 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,157,315	8,968,577	2,617,196	3,012,449	5,423,560	30,179,099	-	30,179,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	983,705	18,354	250,849	83,558	16,953	1,353,422	1,353,422	-
計	11,141,021	8,986,932	2,868,046	3,096,008	5,440,514	31,532,522	1,353,422	30,179,099
セグメント利益	719,358	993,492	331,309	149,257	226,403	2,419,820	888,361	1,531,458

(注) 1. セグメント利益の調整額 888,361千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 911,186千円及びその他調整額22,824千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間（自平成23年9月1日至平成23年11月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	精肉事業	惣菜事業	食品事業	和菓子 事業	レストラン 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,403,252	3,042,270	920,974	956,100	1,704,647	10,027,245	-	10,027,245
セグメント間の内部 売上高又は振替高	386,510	5,436	80,080	27,811	4,091	503,930	503,930	-
計	3,789,763	3,047,707	1,001,054	983,912	1,708,738	10,531,176	503,930	10,027,245
セグメント利益	207,771	336,654	174,718	12,859	53,971	785,976	297,679	488,296

(注) 1. セグメント利益の調整額 297,679千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 305,223千円及びその他調整額7,544千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結会計期間(自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(金融商品関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年11月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年11月30日)

有価証券は、当社グループの事業の運営における重要性が乏しく、かつ、前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年11月30日)

当社グループは、デリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年11月30日)

資産除去債務の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(賃貸等不動産関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年11月30日)

賃貸等不動産の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)
1株当たり純資産額 950.92円	1株当たり純資産額 932.20円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額 36.92円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 47.99円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	459,610	597,338
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	459,610	597,338
期中平均株式数(千株)	12,446	12,446

前第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額 14.51円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 20.76円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	180,694	258,461
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	180,694	258,461
期中平均株式数(千株)	12,446	12,446

(重要な後発事象)

当第3四半期連結会計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)
該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)
著しい変動がないため記載を省略しております。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年1月11日

株式会社柿安本店
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 榛山 榮一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 谷本 勝則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社柿安本店の平成22年3月1日から平成23年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年9月1日から平成22年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社柿安本店及び連結子会社の平成22年11月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 1月10日

株式会社柿安本店
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 榛山 榮一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 谷本 勝則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社柿安本店の平成23年3月1日から平成24年2月29日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社柿安本店及び連結子会社の平成23年11月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載されているとおり、会社は第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」を適用している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれておりません。